

桃山東小だより

平成26年 臨時号
京都市立桃山東小学校
校長 野中 哲也



学校教育目標

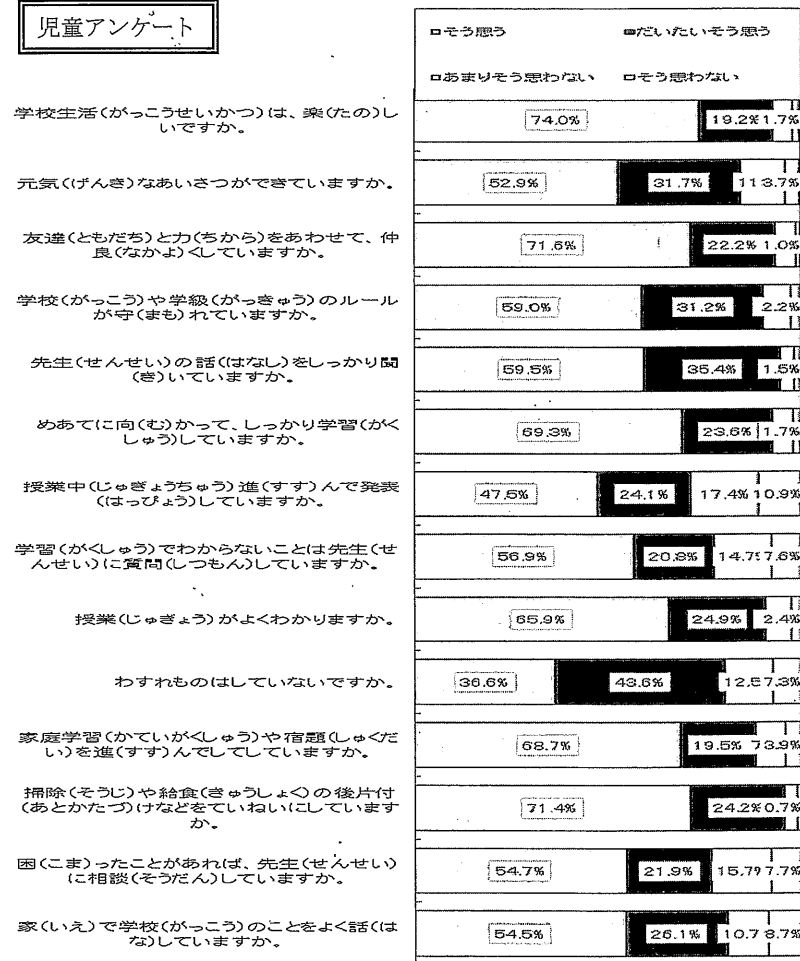
確かな学び、豊かな心、健やかな体で未来を拓く子

めざす子どもの姿

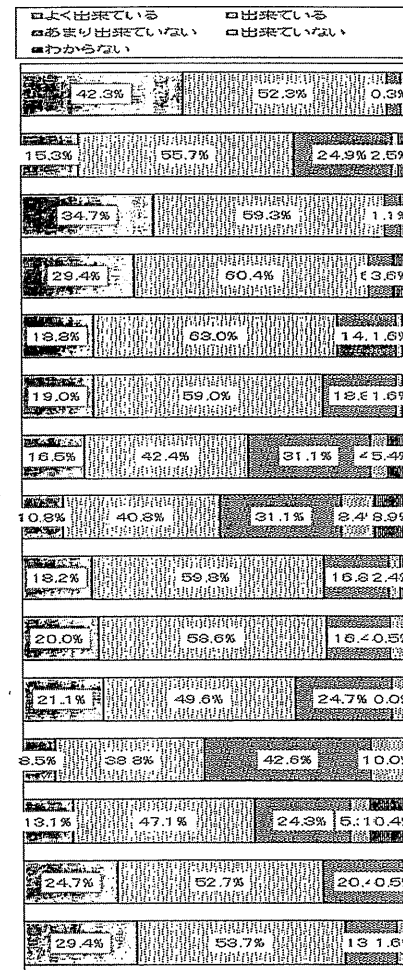
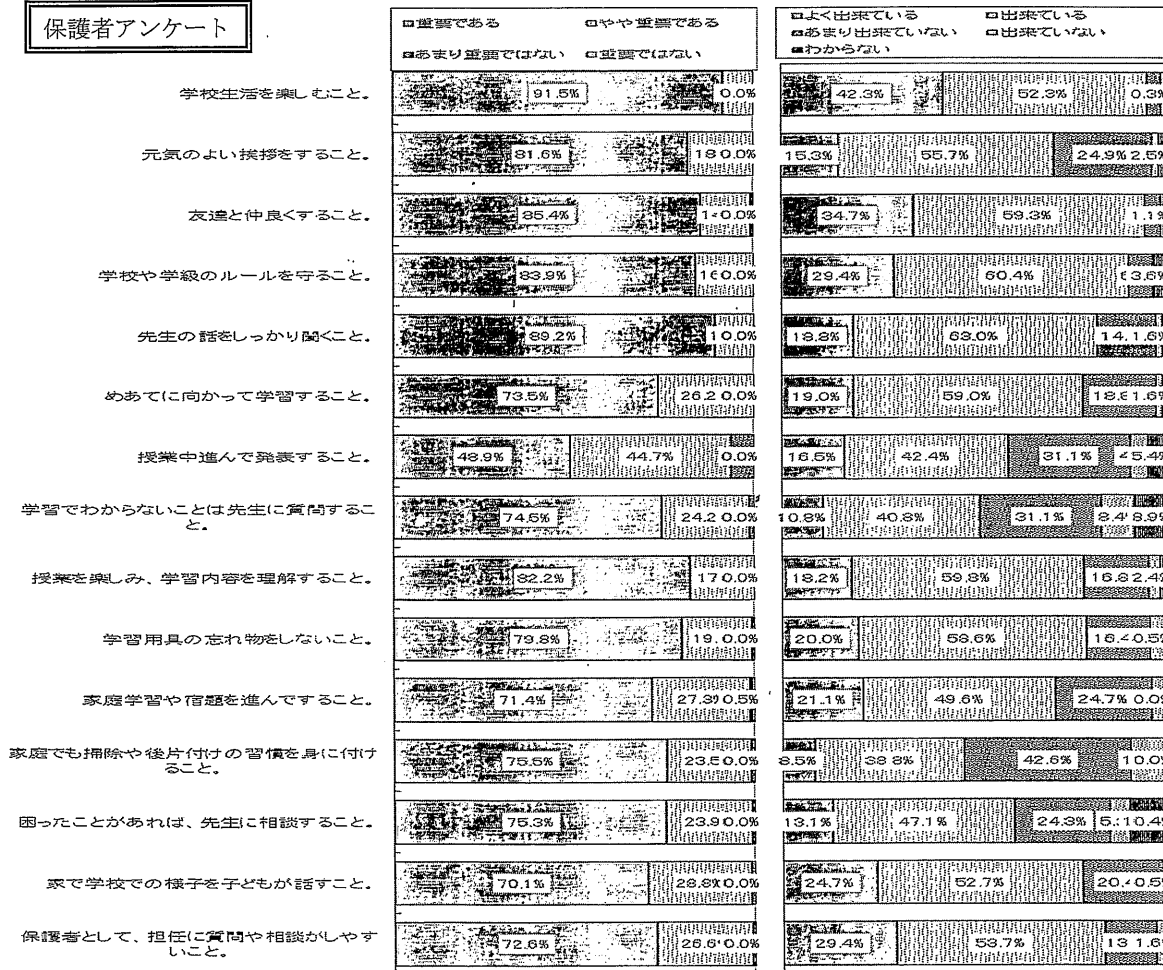
元気にあいさつする子 しっかり勉強する子 人を大切にすること しまりを守る子

平成26年度 学校評価のご報告 秋の候となってまいりました。皆様には平素より本校教育にご理解ご協力いただきありがとうございます。桃山東小学校では、保護者の皆様からご協力いただいた「よりよい学校をつくるためのアンケート」を軸に「児童アンケート」の結果を総合的に分析して現状を把握し、今後より一層推進すべき点や改善点について考察しました。限られた紙面ではありますが、ご報告させていただきます。

児童アンケート



保護者アンケート



教職員アンケート



○考察（学校教育目標と関わらせて）

確かな学力・・・児童は学習や授業を楽しみ意欲的に学習している。その中で、言語活動の充実を図るため、どの教科領域において取組んでいく必要がある。

豊かな心・・・児童は毎日楽しく友達と過ごしている。その中であいさつができていない姿も見られるので、誰に対しても、どんな時でも、しっかり挨拶ができコミュニケーションが取れるように人とのかかわりを大切にしていける必要がある。

健やかな体・・・基本的生活習慣の確立については個人差、学年により違いがみられる。この事は、学校で友達と過ごしたり、学習活動をしたりしていくうえで、深くかかわっているため、勉強だけでなく自分のやるべきことをきちんとするようにしていきたい。

児童アンケートから・・・児童は、学校生活を楽しみ、友達と仲良く活動している。学習だけでなく、掃除や給食なども頑張っている。学習については、しっかり話を聞いて取り組んでいる児童が多く、家庭学習もまじめに取り組んでいる。授業中に進んで発表しようとしている児童は、約72%で、わからないことを質問したり、学校で困ったことを相談したりしている児童の割合が他の項目と比べると少ない。また家で学校のことをよく話している児童も約80%である。みんなの前で発表したり、自分の言葉で表現したり、コミュニケーションをとろうとしている児童とできていないと思っている児童もいる。

保護者アンケートから・・・重要度については、まず学校が楽しいこと、友達と仲良く元気で過ごしてほしい。勉強も先生の話をしっかり聞いて、学校のきまりを守り、積極的に学習に取り組んでほしい。という保護者の願いや意識がみられる。実現度については、学校生活を楽しむこと、友達と仲良く過ごすこと、学校のルールを守り、めあてに向かって学習すること、は、ほぼ重要度と同じであるが、「元気にあいさつをする」ことが重要度と比べて実現できていない。次に、家庭での基本的生活習慣や、家庭学習の取組み、また、わからないことを質問したり、授業中の発表をしたりすることなど、自分から働きかけることができていないと感じておられる。

教職員アンケートから・・・どの項目も重要であり学校教育を進めていくうえで大事にしていく事を確認することができた。実現度については、授業中の発表については、ほかの項目と比べると少なく、質問したり、児童が自ら教職員に話しかけたり相談したりすることは少ないと感じている。学習の用意をすることや家庭学習、掃除や身の回りの整理整頓など、基本的生活習慣や学習習慣が身についている児童とそうでない児童がいるととらえている。

○まとめ（今後の取組）

- ・日々の授業や学習から、言語活動の充実を意識した、表現活動を取り入れていく。そして言葉を大切にし、言語表現の力を育てたい。
- ・主体的に学ぶことのできる授業・学習活動を構築していく。
- ・朝のあいさつでしっかり声が出せるように呼び掛けをする。
- ・いじめのない一人ひとりが大切にされる学級づくりをめざす。
- ・桃キッズ班や児童会活動を通じて高学年がよきリーダーとして活躍できるよう仲間づくりをする。
- ・きまりを守り、みんなが気持ちよく過ごせるが学校をめざす。
- ・家庭学習の取組みや忘れ物を無くすことなど、低学年から身につけた習慣が継続できるよう、家庭と学校との連携や協力を大切にする。

これからも児童・保護者・地域の皆様・教職員が協力連携をしながら桃山東小の児童の成長を見守っていきたくて考えております。よろしくお願いいたします。アンケートへのご協力ありがとうございました。